



No.19 | 柏市政や柏市の出来事についてご報告します。

# 山下洋輔新聞

柏市議

無所属

38歳

ボランティア募集！

山下洋輔は、クリーンな政治を目指しています。皆様のお力が必要です。この新聞を配布してくださる方を募集しています。散歩がてら、ご近所だけなど、何枚でもかまいません。地域をよりよくするため、一緒に活動しましょう。

2016年8月5日

市議会議員は、どんな活動をしているか。どのような考え方で、活動しているか。報告していきます。

## ○ 学校のエアコン設置に向けた議論



近年の暑さは異常です。数十年前と環境は大きく変わりました。「小・中学校にエアコンを設置して欲しい」という市民からの強い要望があり、柏市議会でも取り上げてきました。

これまで市長は、「限られた予算なので、エアコンよりも、教育内容の充実を優先させたい」との考えでしたが、議会で議論を重ね、エアコン設置を前向きに検討し始めました。

6月の議会で、私は、エアコン設置について質問しました。

エアコンが設置されなければ、学校を休みにすることも考えるべきです。エアコン設置に向けて、設備やコスト、省エネや事業スキームの検討は行われていますが、授業時間数や行事のあり方なども考えるよう提案しました。

多額のお金のかかる事業です。これを機に、夏休みの日数の増減や授業時間数の組み換え、宿泊体験や行事などの年間予定、長期休業中の学校施設の地域への開放なども、見直すきっかけとすべきです。

そして、大人の意見だけではなく、当事者である児童生徒の声にもしっかりと耳を傾け、よりよい教育環境を実現させたいと思います。

【写真】学童保育ネクスファにて子どもの声を聴く

## ○ 柏駅前のまちづくりの展望

そごう閉店を受け、駅前の衰退を心配する声を耳にします。そごう跡地に、「図書館や保育所、文化ホールを！」とのご意見もお聞きます。以前から、中央図書館をそごうに移転する提案をしてきましたが、これは商業施設と同居することで相乗効果を生み出そうという案でした。

6月の議会で、柏駅前の現状認識と今後の取り組みについて、市長に問い合わせました。これまでイメージアップに力を入れ、「柏は元気だ」と現状認識が甘くなり、都市計画など根本的な政策が不十分であったと感じます。

街を歩いて楽しめるということは、ショッピングセンターにはない柏駅前の大いなる魅力です。歩行者優先のまちづくり、公共交通の充実、客引き対策、治安といった地道な政策を実行し、柏の可能性を引き出していくべきです。

### 山下洋輔のプロフィール

1978年4月生まれ。38歳。

東葛飾高校卒業。早稲田大学教育学部卒。同大学院修士課程修了後、土浦日大高校にて教諭。早稲田大学大学院教育学研究科博士課程を単位取得後退学。

「柏まちなかカレッジ」学長として市民大学を主宰し、地域の教育・文化を盛り上げている。

【趣味・特技】歴史散策、剣道（三段）、絵画、カポエイラ、三線、バイク、JAZZ鑑賞

【家族】妻、長男（2014年生まれ）

※タイトルのイラストは、『ひとりごはんの背中』（講談社）で著者の能町みね子さんの取材を受け、描いて頂いたものを使用しています。

柏まちづくり俱楽部開催（毎月最終木曜日 19時～）

参加ご希望の方は、ご連絡ください。  
連絡先は裏面に記載しています。

# ○ 山下洋輔、6月議会での質問。

山下の質問 → 柏市の答弁

柏 駅 前  觀 光  教 育  福 祉  環 境  行 政	<b>山下の視点</b> そごう撤退のニュースを受け、実態を直視し、明確な都市計画が求められている。	
	市長の柏駅前の現状認識と今後の方針は? → まだまだ商業の力はあるが、規模は縮小する。駅前を再構成する必要がある。	
	歩行者優先のまちづくりをどのように進めていくか? → 関係者と協議し、計画の前倒しも含め、検討する。	
	旧水戸街道沿い歩道のバリアフリー化の早期実現を。 → 実施が遅れているが、次年度には実施設計に入る。	
	<b>山下の視点</b> 東京オリンピック・パラリンピックに向け、国をあげて観光政策を進めている。柏市の対策を問う。	
	「民泊」の規制緩和への懸念と柏市独自のルール作りを。 → 調査研究し、対応する。	
	ハラルフードの体制を整備し、世界人口2/3を占めるイスラム教徒を迎える準備を。 → ビジネスチャンスと捉え、他の動向を注視し、研究する。	
	<b>山下の視点</b> 近年の暑さは異常。エアコン設置の議論は、子どもたちの学校での過ごし方そのものを見直す機会でもある。	
	早急のエアコン設置と授業日数や年間予定などあわせて検討を。 → 学習・生活環境を改善できるようエアコン設置を検討する。 ※新教育長に、学校教育、生涯学習、スポーツ、図書館、文化・歴史についての考え方質問。	
	<b>山下の視点</b> 障害児童放課後デイサービスは、全国的に増加傾向にあり、その質の確保が課題となっている。	
	市内の障害児童の放課後デイサービスの現状と今後の方針は? → ガイドラインを作成。意見交換の場への参加を呼びかける。	
	<b>山下の視点</b> 人生の最後まで住み慣れた地域で自分らしく過ごすためにも、ケアラー(介護者)の心労や肉体的負担への支援が必要。	
	認知症患者とその介護者を同時に訪問支援する仕組みである「認とも」と「ケアとも」による地域の認知症高齢者の支援体制の充実を。 → まず訪問支援の担い手となる認知症センターを育成する。	
	<b>山下の視点</b> 介護予防は、高齢化や財政運営上ますます重要な事業である。客観的な指標を用いて、事業を評価し、次に生かすべきである。	
	データに基づいた介護予防事業を。 → 高齢者データ分析を生かし、フレイル予防事業を進める。	
	<b>山下の視点</b> がん患者の生活や人生の質(QOL)を高めていくことは、がん対策における大切な視点である。	
	乳房再建、補正下着、ウィッグなど、がん患者への助成を。 → がん患者だけに助成するのは難しい。	
	<b>山下の視点</b> 近年の異常気象など、地球規模の環境問題は、身近な自治体レベルでの取り組みが重要。	
	多自然型川づくりの考えを積極的に取り入れていくべき。 → 多自然型川づくりを促進する。	
	<b>山下の視点</b> 柏市のゴミ行政の年間予算は約56億円。ゴミは減っているとは言え、毎年1万トン近くの焼却灰が出ている。	
	ごみ減量化は深刻な課題で、抜本的な見直しが必要。柏市の具体的な取り組みは? → 3R事業の推進や食品ロス削減など、鋭意取り組む。	
	<b>山下の視点</b> 人口が減少し、施設の統廃合が予測される。公平公正な適正配置を実行するために、経済的なコストとともに、思いや文化などへの評価の基準も準備すべき。	
	公共施設の評価指標や統廃合の原則を示すべき。自治体を超えた広域連携についても基本方針は? → 今後、研究・検証していく。	
	<b>山下の視点</b> 多様化した市民の声を正確に捉え、業務に反映することがより重要となる。データ分析だけではわからない本当の市民の声を市政に取り入れるための提案をした。	
	市役所に創造的解決手法である「デザイン思考」を取り入れることを提案。 → 政策立案に期待できる。職員研修の導入も検討したい。	

## ○ 旧水戸街道沿い歩道のバリアフリー化の進捗



旧水戸街道沿いの歩道は表面が剥がれてきているだけではなく、歩道が斜めになつていて歩きにくい状態です。できるだけ早期の改修を議会で求めてきました。

市は、平成29年度実施設計を行い、30年度に工事着工を目指すとの答えでした。これまで、旧水戸街道沿いの歩道と車道のフラット化、下水道の整備、自転車道の整備、歩行者優先のまちづくりを提案してきました。

高齢者、車いす、ベビーカー、キャリーバッグ、ハイヒール、疲れた人、誰にとっても歩きやすい歩道は、街の活性化にもつながります。

### 山下から一言

夏休みに、子どもたちと、地域の課題に気づき、調べ、課題解決策を立て、行動し、情報発信する課題解決型学習の場を開きました。この経験を教育政策に生かしていきます。また、子どもたちならではの視点を議会にも反映させていきたいと考えています。

**連絡先** TEL:04-7170-0668 FAX:03-6745-9416(※eFaxを使用) Mail: info@y-yamasita.com

以下、山下の活動や考えたことを報告しています。山下の日常の記録です。ご感想やご意見もお寄せ下さい。  
[twitter] @yosukekeyama [facebook] http://facebook.com/yosukekeyama [HP] http://y-yamasita.com